

【明石市】助成金を活用し、誰もが安心できる空間づくりへ Mama's キッチン nonoにて、視覚障がい者歩行誘導ソフトマットを採用



写真① 入口から右手飲食スペース
左手多目的ルームへ誘導



写真② 床とのコントラストが取れる茶色を採用
店内の雰囲気ともマッチしている

Mama's キッチン nono（兵庫県明石市小久保6丁目）に、視覚障がい者歩行誘導ソフトマット「歩導くん ガイドウェイ」が導入されました。設置箇所は、入口から店内を誘導。事業の趣旨と製品の特性がマッチしたことから、明石市の助成金を用いての導入となりました。

テナントのオーナーが「地域に開放したい」という思いから、トイレはバリアフリー仕様、店舗前は点字ブロックを敷設していました。現在、視覚障がいのある利用者がいらっしゃるわけではありませんが、今後の必要性や、居場所づくりの一環として導入頂きました。「あの場所なら安心できるよね。」と安心感の提供を充実させ、今後も「町づくり条例が整ったお店」として地域の拠点を担っていきます。

■視覚障がい者歩行誘導ソフトマット概要

いわゆる誘導ブロックの代替品として視覚障がい者が考案し、視覚障がい者団体協力のもと開発された。全ての人の利便性に配慮した「ユニバーサルデザイン」の考えをベースにしている。

白杖で叩いた時の音の違いや、足裏に伝わる質感の違いによって誘導路を認識することができるゴム製の屋内専用マット。表面の凹凸や段差がなく、中央部に向かって緩やかな傾斜となっているので、高齢者や幼児がつかずいたり、ベビーカーや車いすの車輪の引っかかりを防ぐ。そのため、空港、銀行ATM、ホテルなどでの導入も進んでいる。

床への設置は両面テープを使用するため、大掛かりな設置工事は不要。取り外しも容易なので、催事などで一時的に設置することも可能。

2016年2月に、ドイツ「iFデザインアワード」の「プロダクト部門・公共デザインカテゴリー」で日本初の金賞を受賞。その他にも多数のアワードを受賞し、世界的にも注目されている。



■Mama's キッチン nono 概要

所在地：兵庫県明石市小久保6丁目4-6 グランメゾンアニー1F
施設概要：明石市の助成金で、概ね中学校区域を圏域とする地域拠点として「地域支え合いの家」を設置し活動している。介護や生活上の悩みなどの相談窓口や、子どもから大人まで誰もが利用できる居場所づくりを行いながら住民主体のサービスや支援を創出する仕組みづくりを行う。Mama's キッチン nono は、その1施設。



■お問合せ先

施設：地域支え合いの家 nono 代表 おのうえ 尾上 TEL：078-995-9840

製品：錦城護謨株式会社 土木事業本部 ホドウクン担当 TEL：072-992-2328/FAX：072-922-4175